

## 認定調査の結果

要介護認定等の訪問調査の「基本調査の結果」を用いて要否を判断します。

(別表1)

対象外種目	厚生労働大臣が定める者のイ	厚生労働大臣が定める者のイに該当する基本調査の結果
ア 車いす及び車いす付属品	次のいずれかに該当する者 (一) 日常的に歩行が困難な者	基本調査1-7(歩行) 「3.できない」
	(二) 日常生活範囲における移動の支援が特に必要と認められる者	
イ 特殊寝台及び特殊寝台付属品	次のいずれかに該当する者 (一) 日常的に起き上がりが困難な者	基本調査1-4(起き上がり) 「3.できない」
	(二) 日常的に寝返りが困難な者	基本調査1-3(寝返り) 「3.できない」
ウ.床ずれ防止用具及び体位変換器	日常的に寝返りが困難な者	基本調査1-3(寝返り) 「3.できない」
エ 認知症老人徘徊感知機器	次のいずれにも該当する者 (一)意思の伝達、介護者への反応、記憶・理解のいずれかに支障がある者	基本調査3-1(意思の伝達) 「1.調査対象者が意思を他者に伝達できる」以外又は 基本調査3-2~3-7のいずれか「2.できない」又は 基本調査3-8~4-15のいずれか「1.ない」以外 その他、主治医意見書において、認知症の症状がある旨が記載されている場合も含む。
	(二)移動において全介助を必要としない	基本調査2-2(移動) 「4.全介助」以外
オ.移動用リフト (つり具の部分を除く)	次のいずれかに該当 (一) 日常的に立ち上がりが困難な者	基本調査1-8(立ち上がり) 「3.できない」
	(二) 移乗が一部介助又は全介助を必要とする者	基本調査2-1(移乗) 「3.一部介助」又は「4.全介助」
	(三) 生活環境において段差の解消が必要と認められる者	
カ.自動排泄処理装置	次のいずれにも該当する者 (一) 排便が全介助を必要とする者 (二) 移乗が全介助を必要とする者	基本調査2-6 「4.全介助」 基本調査2-1 「4.全介助」

主治医から得た情報、サービス担当者会議等を通じて適切なマネジメントにより居宅支援事業者が判断する。

平成24年度の介護報酬改定に伴い、自動排泄処理装置(尿のみを自動的に吸引する機能のものを除く。)が追加されました。